

令和4年6月14日

保護者 様

倉敷市立第三福田小学校

校長 大森 輝彦

学校生活における児童のマスク着用について

梅雨の候、保護者の皆様には御清栄のことと存じます。平素より本校教育の振興に御理解、御協力を賜り感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症対策としてマスクをつけた生活を学校でも継続してまいりましたが先般、現在の感染状況等に応じて国から「マスク着用の必要がない場面」が改めて示されました。

今後の学校生活では、この示された内容に基づき、マスク着用について次のように指導してまいります。

○マスク着用が不要な場面

・体育の授業（屋内、屋外、学習内容を問わない。児童間の距離を適切に保つ工夫を行います。また、屋内活動の場合は換気を十分に行います。）

・休憩時間の外遊び

・登下校時（会話を控え、列を作って歩くよう指導します。）

※マスクを着用していない状況で近距離で話をする必要が生じた際には、ハンカチやタオルなどで口元を抑えるなどして飛沫の拡散を防ぐように指導します。

※登下校時については、指導事項の徹底が難しい面があるため、家庭でも御指導をよろしくお願いします。

※上記の場面はマスク着用が不要な場面であり、これらの場面でマスク着用を禁止するものではありません。

上記の場面以外は基本的にはこれまでと同様にマスクを着用するようにしますが、今後、気温・湿度が高くなり暑さ指数が上昇している場合などには熱中症を防ぐ観点から教師が主導して適宜マスクを外させるようにします。また、気象状況が心配なレベルに至っていなくても暑さの感じ方は人それぞれであるので、児童本人が暑さで息苦しいと感じているときには自身の判断でマスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸をしたりするなどの対応ができるよう指導します。

これからマスクを外しておく時間が増加します。マスク保管用のマスク入れ（マスクホルダー）をぜひ持たせるようにしてください。予備マスクの持参もよろしくお願いします。